

平成30年度6月補正予算案

主要事項説明資料

商工労働観光部

主要事項説明資料目次

商工労働観光部

頁	事業名	担当室・課
1	京都経済センター（仮称）整備事業費	産業労働総務課
2	京都産業人材育成ネットワーク構築事業費	産業労働総務課
3	小規模製造業設備投資等支援事業費	ものづくり振興課
4	中小企業シェアリング拡大事業費	ものづくり振興課
5	次世代地域産業推進事業費	ものづくり振興課
6	丹後・知恵のものづくりパーク機能強化事業費	ものづくり振興課
7	中小企業事業継続・承継支援強化事業費	ものづくり振興課
8	京都ワールドアートアンドクラフト展開事業費	文化芸術課 染織・工芸課
9	和装産地発展支援事業費	染織・工芸課
10	「京もの」海外常設店設置事業費	経済交流課

11	南田辺西地区環境事前調査事業費	文化学術研究都市推進課
12	新卒離職者再チャレンジ事業費	総合就業支援室 人づくり推進課
13	多様な働き方実現・人材確保推進事業費	男女共同参画課 子ども総合対策課 総合就業支援室 労働・雇用政策課
14	「もうひとつの京都」セカンドステージ総合推進事業費	企画調整理事付課 計画推進課 自然環境保全課 経済交流課 文化学術研究都市推進課 観光政策課 経営支援・担い手育成課 流通・ブランド戦略課 農産課
15	京の七夕事業費	観光政策課
16	京都・花灯路推進事業費	観光政策課

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	京都経済センター（仮称）整備事業費		新規・ 継続の別	継続		
予算額	2,483,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			-	2,452,000	-	31,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府内中小企業の人材育成や生産性向上に資する企業共生型拠点施設の整備を推進する。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 中小企業支援機能を集積し、府域の中小企業が抱える課題にオール京都の総合力を結集して取り組むための新たな時代に相応しい総合支援拠点として「京都経済センター（仮称）」を整備</p> <p>(2) 経済団体・中小企業団体・中小企業支援機関を集積するとともに、団体の垣根を超えた経済人等との交流と協働を促進し、新たなネットワークの創出やオープンイノベーション、産学公連携等を通じて、中小企業の「人づくり革命」「生産性革命」を推進</p> <p><主な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営・技術の総合的人材育成 ・ イノベーションを生む新たな連携・交流機能の強化 ・ 中小企業サポートの強化 ・ 海外企業誘致などグローバル経済活動の強化 等 					
担当課・担当名	産業労働総務課 企画・地域戦略担当		課・担当 電話番号		075-414-4819	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	京都産業人材育成ネットワーク構築事業費		新規・ 継続の別	新規		
予算額	33,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			-	-	-	33,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>京都経済センター（仮称）の整備に併せ、府内全域を対象とした京都の産業人材育成のネットワークを構築し、優れた産業人材の育成等を図る。</p> <p>2 内 容</p> <p>京都経済センター（仮称）を核に、府内4拠点にテレビ会議システムを整備しネットワークで結ぶことにより、京都経済センター（仮称）で実施する高度な研修やセミナー、講習会等が、府内各拠点に居ながらにして参加できる仕組みを構築し、府内全域における産業人材育成を推進</p> <p>(1)整備箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京都経済センター(仮称) ○府内4拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後・知恵のものづくりパーク ・北部産業創造センター ・けいはんなオープンイノベーションセンター ・中小企業技術センター <p>(2)整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高精細プロジェクター ・テレビ会議システム ・テレビモニター ・操作用タブレット ・音響設備 等 					
担当課・担当名	産業労働総務課 企画・地域戦略担当		課・担当 電話番号		075-414-4819	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	小規模製造業設備投資等支援事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	100,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	100,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>小規模企業の製造現場で発生している、人手不足等に起因する生産上の課題を解決する取組を支援し、生産性の確保・向上を図る。</p>				
	<p>2 事業内容</p>				
	対象者	小規模企業（製造業）			
	対象事業	<p>生産性の確保・向上に向けて必要な課題の解決に係る取組</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新設備の導入により、熟練技能者の作業負荷軽減を図り、人材育成時間を確保することで、生産性の向上につなげる取組 ・人手不足等により、納期待ちが著しい部材に係る代替品の調査・技術検証を行い、代替技術の確立を図ることで、自社の生産計画の安定化につなげる取組 <p style="text-align: right;">等</p>			
補助率等	1 / 2 以内（設備等経費 15%以内） （上限5,000千円）				
担当課・担当名	ものづくり振興課 中小企業育成担当	課・担当 電話番号		075-414-4851	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	中小企業シェアリング拡大事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	10,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	10,000
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 I o T技術による情報（受注・設計・生産進捗管理等の状況）や工作機械等の共同化（シェアリング）の実践に必要な調査や検討など、計画策定段階の取組を支援することで、府内中小企業の連携・一体化を促進し、中小企業の生産性向上を図る。				
	2 内 容				
	対象者	中小企業グループ、組合等			
	対象事業	共同利用を前提とした最適な設備や必要な技術調査、運用ルールの検討など計画策定段階の取組を支援 ・相互協力体制の構築、共同利用を前提とする設備の調査 ・費用分担、利用方法、役割分担などの運用ルールの策定 等			
補助率等	1/2以内（1グループあたり上限1,200千円）				
担当課・担当名	ものづくり振興課 中小企業育成担当	課・担当	電話番号	075-414-4851	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	次世代地域産業推進事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	50,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	50,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>i P S、A I 等、今後の経済成長に不可欠な最先端技術分野において、国の研究機関や大学、中小企業、ベンチャー等が参画する産学公連携プロジェクトを育成し、オープンイノベーションの更なる推進により、新産業の創出、府内経済の活性化を図る。</p>				
	<p>2 事業内容</p>				
	対象者	i P S、A I 等の最先端技術を用いるプロジェクトに取り組む産学公連携グループ			
	対象事業	プロジェクトの育成、事業化促進に必要な経費 (市場調査、試験・解析等)			
補助率等	1/2 以内 (1 グループあたり上限10,000千円)				
担当課・担当名	ものづくり振興課 特区・イノベーション推進担当		課・担当	電話番号	075-414-4849

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	丹後・知恵のものづくりパーク機能強化事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	127,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		63,500	57,000	—	6,500
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>府北部地域におけるものづくり産業の支援を担う中核拠点として、「丹後・知恵のものづくりパーク」の機能を強化し、地域の課題である製造業の人材育成等を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>「丹後・知恵のものづくりパーク」の改修を行い、オープンイノベーションの更なる促進や時代に即した人材育成環境の整備など、中小企業支援機能を拡充</p> <p><主な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材の育成 多様な連携・交流による新産業創出 等 <p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> VR技術を活用した疑似操作体験システムなど、地域の中小企業が持つ課題の解決や技術の高度化を支援する人材育成環境の整備 新産業創出に向けた交流スペースの新設 				
担当課・担当名	ものづくり振興課 創業・地域産業戦略担当	課・担当	電話番号	075-414-4852	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	中小企業事業継続・承継支援強化事業費		新規・継続の別		新規	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	5,000千円		—	—	—	5,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>団塊世代経営者の大量引退期に備え、後継者人材の確保難や地域産業における事業継続に向けた対応として事業承継・継続の支援体制を強化する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>従来の「事業継続・創生支援センター」の活動に加え、産学公連携によるプロジェクトチームを結成し、相談支援体制を強化</p> <p>(1) 府北部地域の対策強化 2,000千円 府北部企業への事業承継・継続の支援強化を図るため、民間コンサルタントや金融機関等外部の専門家と連携し、新たに北部での支援拠点を設置</p> <p>(2) 事業継続支援機能の強化 3,000千円 地域の産業基盤・雇用の維持を図るため、大学や民間コンサルタント、士業団体からなるタスクフォースを新設し、事業引継ぎによる事業承継型M&Aについて、相談支援体制を強化</p>					
担当課・担当名	ものづくり振興課 中小企業育成担当		課・担当 電話番号		075-414-5103	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

文化スポーツ部
商工労働観光部

事業名	京都ワールドアートアンドクラフト展開事業費		新規・継続の別	新規		
予算額	14,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			10,800	-	-	3,200
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>平成30年2月に初開催した「アーティストフェア京都」をさらに発展させ、平成31年度は芸術と工芸が一体となった国際的なフェアを開催するため、芸術と工芸の分野それぞれで新たな取組みを展開する。</p> <p>2 事業内容</p> <p><u>(1)「ワールドアーティストフェア京都」戦略的展開事業</u> 8,000千円 「ワールドアーティストフェア京都」との連動企画として、企業とコラボした作品展示など誘客促進となる取組を実施</p> <p><u>(2)「京都KOUGEIウィーク」(仮称)開催準備</u> 6,000千円 国内外のものづくり関係者との交流を通じた新産業の創出に向け、ロンドンクラフトウィーク運営団体と連携し、プレイベントを開催</p>					
担当課・担当名	(1)文化芸術課 文化の人づくり担当 (2)染織・工芸課 次世代職人育成担当	課・担当 電話番号	075-414-4219 075-414-4869			

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	和装産地発展支援事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	2,000千円			国庫	起債
				-	-
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>全国から多くの関係者が集まる「きものサミットin京都 2018」の開催を支援し、西陣織、京友禅、丹後織物をはじめとする京都の伝統工芸品の魅力の発信や商慣行の見直しをはじめとする和装産地の発展に向けた取組を推進する。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1)京都の伝統工芸品の魅力発信 1,000千円 産地組合が実施する明治150年事業とも連携し、「きものサミットin京都 2018」に併せて、西陣織、京友禅、丹後織物等、京都の伝統工芸品の魅力をPRするための展示を京都駅で実施</p> <p>(2)「きものサミットin京都 2018」開催経費への補助 1,000千円 「きものサミットin京都 2018」の概要 和装産業の商慣行のあり方を中心とした複数のテーマを分科会で議論し、「サミット宣言」を発信 開催日：平成30年9月5日（水） 会 場：ホテルグランヴィア京都</p> <p>※和装における「商慣行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期手形、歩引きなどの前近代的な取引 ・産地がコスト・リスク負担する委託販売への偏り 				
担当課・担当名	染織・工芸課 染織担当			課・担当 電話番号	075-414-4856

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	「京もの」海外常設店設置事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	10,000 千円	国庫	起債	その他	一般財源
		5,000	—	—	5,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>海外小売店や百貨店等と連携して「京もの」常設店を設置し、海外物産展等の成果を継続的な輸出に結びつけるとともに、府内中小企業の海外進出に向けた自立化を促すなど、京都製品の輸出拡大を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>海外の高級スーパーやショッピングモール等において京都産品を継続的に販売する民営常設店や常設コーナーを開設し、設置地域における通年の販売拠点とするため、代表商社を核とした府内中小企業チームに対して、スタートアップに要する経費（PR・広告費等）への支援を実施</p> <p>【設置地域】 香港・台湾</p>				
担当課・担当名	経済交流課 対日投資・販路開拓支援担当	課・担当	電話番号	075-414-4840	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	南田辺西地区環境事前調査事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	3,000千円 (債務負担行為 9,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	3,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>南田辺西地区の土地活用に向けて、教育・研究機関や研究開発型企业用の用地のニーズの高まり等を踏まえて今後の開発計画の方針を定めるため、環境事前調査を実施する。</p> <p>2 内 容</p> <p>開発計画の方針を定めるため、環境影響調査の一部（猛禽類等の生息調査）を実施</p> <p>[スケジュール]</p> <p>○平成30年度(3,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定 ・現地定点調査 <p>○平成31年度(9,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地定点調査 ・データ分析・解析 ・結果検証 ・報告書作成 				
担当課・担当名	文化学術研究都市推進課 景観・整備担当	課・担当	電話番号	075-414-5196	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	新卒離職者再チャレンジ事業費			新規・ 継続の別	新規	
予算額	10,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			-	-	-	10,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 人手不足が深刻な中小企業への就職・定着を促進するため、京都ジョブパークにおいて、府内大学やハローワーク等と連携し、職業適性や職場理解を促進するためのカウンセリング、インターンシップや、早期離職者の再就職に向けたチャレンジを支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 対象者 新規学卒3年以内に離職した若者等</p> <p>(2) 実施方法</p> <p>① 京都ジョブパーク内に新卒離職者再チャレンジコーナー（仮称）を設置し、きめ細かなカウンセリングにより早期離職者の適性に応じた支援コースへ誘導</p> <p>② 早期離職者の適性に依りて、以下の2コースのうちのいずれかを実施</p> <p>ア 企業マッチングコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・適性や職場への理解が不足していたこと等により早期離職した者 ○支援内容 <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた研修とインターンシップを活用したマッチング ○期間 <ul style="list-style-type: none"> ・1週間～1ヶ月 <p>イ 再チャレンジコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人スキルの再習得が必要な者 ○支援内容 <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義やヒューマンスキル等の学びなおし ・インターンシップを活用したマッチング ○期間 <ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月～2ヶ月 					
担当課・担当名	総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 人づくり推進課 人づくり推進担当			課・担当 電話番号	075-682-8912 075-414-5101	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部
商工労働観光部

事業名	多様な働き方実現・人材確保推進事業費（一部再掲）		新規・ 継続の別	新規						
予算額	6,000千円	国庫	起債	その他	一般財源					
		—	—	—	6,000					
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 短時間正社員によるワークシェアリングなどにより、働く女性をはじめとした多様な働き方を希望する方々を支援する仕組みづくりを進める。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) ワークシェアリング推進プロジェクトの設置 1,000千円 (担当課：男女共同参画課、こども総合対策課、総合就業支援室、労働・雇用政策課)</p> <p>①検討会 中小企業人材確保推進機構を基軸に業界関係者等で構成</p> <p>②検討内容 以下のニーズ調査をもとに、短時間正社員によるワークシェアリング等の求職者と人手不足企業とのマッチングの仕組みづくりを検討</p> <p>(2) ワークシェアリング導入に係るニーズ調査の実施（再掲） 2,000千円 (担当課：男女共同参画課、総合就業支援室、労働・雇用政策課)</p> <p>①求職者ニーズ 子育てや介護により勤務時間に制限のある女性等の多様な働き方に係る調査</p> <p>②業界団体・企業ニーズ 人手不足業界・企業におけるワークシェアリング導入可能性調査</p> <p>(3) 多様な働き方推進チャレンジ事業補助金 3,000千円 (担当課：総合就業支援室、労働・雇用政策課) 中小企業における多様な働き方を推進するための取組に対する支援</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">対象者</td> <td>多様な働き方を推進する取組にチャレンジする中小企業、団体等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2以内（上限：単体企業20万円、グループ※100万円） ※同一業種の複数事業者が共同で制度を導入する場合等</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>・業務の課題整理等に係るコンサル委託経費 ・その他多様な働き方を導入するために必要となる経費</td> </tr> </table>				対象者	多様な働き方を推進する取組にチャレンジする中小企業、団体等	補助率	1/2以内（上限：単体企業20万円、グループ※100万円） ※同一業種の複数事業者が共同で制度を導入する場合等	対象経費	・業務の課題整理等に係るコンサル委託経費 ・その他多様な働き方を導入するために必要となる経費
	対象者	多様な働き方を推進する取組にチャレンジする中小企業、団体等								
補助率	1/2以内（上限：単体企業20万円、グループ※100万円） ※同一業種の複数事業者が共同で制度を導入する場合等									
対象経費	・業務の課題整理等に係るコンサル委託経費 ・その他多様な働き方を導入するために必要となる経費									
担当課・担当名	男女共同参画課 女性・ワーク・ライフ・バランス推進担当 こども総合対策課 少子化対策担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 労働・雇用政策課 雇用企画担当	課・担当 電話番号	075-744-6701 075-414-4602 075-682-8913 075-414-5085							

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明
共 通

事業名	「もうひとつの京都」セカンドステージ総合推進事業費		新規・継続の別		新規	
予算額	107,100千円		国庫	起債	その他	一般財源
			33,600	15,000	-	58,500
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 各エリアでのターゲットイヤーイベントの実施やDMOの設立、市町村の連携体制の構築を図ってきた「もうひとつの京都」ブランドを更に魅力ある地域ブランドに「深化」させるため、重点的な取組を実施する。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 観光戦略総合推進本部戦略検討推進費 ⑥ 1,000千円 「もうひとつの京都」における観光、地域づくりの基本方針を検討</p> <p>(2) 宇治茶新展開事業費 ⑨ 5,000千円 宇治茶の消費・生産拡大を図るため、宇治茶の新しい飲み方の提案・発信等を実施</p> <p>(3) 「もうひとつの京都」ステップアップ推進事業費 ① 20,000千円 「もうひとつの京都」の魅力をもっと高め、国内外から人々が集う満足度の高い地域づくりの推進</p> <p>(4) 農と里を支える担い手育成事業費(一部) ⑦ 3,000千円 移住者等の農家レストラン開業支援や地域資源を活かした新メニュー開発など起業・多角化に向けた研修を実施</p> <p>(5) 山陰海岸世界ジオパーク誘客促進事業費 ③ 32,400千円 案内板の多言語化や道路標識、遊歩道の整備等を実施</p> <p>(6) 京都式ガストロノミーツーリズム推進事業費 ②⑥⑧ 23,700千円 ・京の料理人の食材・食文化の推薦によるブランド力強化 ・インフルエンサーにより、国内外向けに発信 ・観光情報と移動ルートの検索をワンストップで行える周遊システムの構築</p> <p>(7) 京都舞鶴港クルーズ誘致強化事業費 ④ 2,000千円 有力海外船会社が参加する見本市へのポートセールス等により、新たなクルーズ船の誘致を実施</p> <p>(8) サイクルツーリズム推進事業費 ⑥ 2,000千円 府南部地域への観光誘客を図るため、平成30年10月開催予定の「KYOTO ロングライド in South Around」への参加者に対するおもてなし事業を実施</p> <p>(9) 次世代観光ガイドシステム構築事業費 ①⑤⑥ 18,000千円 次世代デジタルサイネージ(府内7カ所)とスマートフォンの連動による、多言語対応の観光情報や経路案内情報を発信</p>					
担当課・担当名	①企画調整理事付 ②計画推進課 計画・地域担当 ③自然環境保全課 自然環境担当 ④経済交流課 港湾経済担当 ⑤文化学術研究都市推進課 計画推進担当 ⑥観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ⑦経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 ⑧流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当 ⑨農産課 宇治茶・特産振興担当		課・担当 電話番号		075-414-4513 075-414-4347 075-414-4378 075-414-4844 075-414-5194 075-414-4841 075-414-4942 075-414-4941 075-414-4944	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	観光戦略総合推進本部戦略検討推進費 (再掲)			新規・ 継続の別	新規
予算額	1,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	1,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>訪日外国人客4,000万人の目標達成が間近に迫る中、京都市の一部に集中する観光客を府域に広く周遊させ、府域での観光消費の拡大を図るため、「観光戦略総合推進本部」を設置し、観光、地域づくりの基本方針を検討する。</p> <p>2 内 容</p> <p>知事を本部長とする「観光戦略総合推進本部」において、以下の事項を検討</p> <p>【検討事項】(予定)</p> <p>(1) インバウンド戦略に関すること</p> <p>(2) 広域観光(京都市、近隣府県、関西広域連合)に関すること</p> <p>(3) もうひとつの京都(海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓)における観光、地域づくりの基本方針</p>				
担当課・担当名	観光政策課 観光振興・基盤整備担当	課・担当	電話番号	075-414-4854	

平成30年度6月補正予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	宇治茶新展開事業費		新規・ 継続の別	一部新規	
予算額	5,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		2,500	—	—	2,500
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>宇治茶の消費・生産拡大を図るため、宇治茶の新しい飲み方の提案・発信等を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会運営費 440千円</p> <p>平成29年度に立ち上げた宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会において、商品開発と新しい飲み方の発信を検討</p> <p>(2) 宇治茶ドリンク新商品の開発（新規） 1,854千円</p> <p>宇治茶の新たな需要を創造するため、「新商品開発プロジェクト」を立ち上げ、民間との提携を通じ今までにない発想・手法で宇治茶ドリンクの新商品開発を推進</p> <p>(3) 宇治茶の新しい飲み方発信 2,706千円</p> <p>季節に応じた宇治茶の新しい飲み方についてアイデアの公募や、新しい喫茶スタイルの発信イベントや、インバウンドを対象とした「宇治茶文化理解促進ワークショップ」などを開催</p>				
目的 対象 方法等					
担当課・担当名	農 産 課 宇治茶・特産振興担当	課・担当	電話番号	075-414-4944	

平成30年度6月補正予算案主要事項説明

企画調整理事

事業名	「もうひとつの京都」ステップアップ推進事業費			新規・継続の別	新規																																			
予算額	20,000千円	国庫	起債	その他	一般財源																																			
		10,000	-	-	10,000																																			
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 「もうひとつの京都」ターゲットイヤー終了後の市町村の地域づくりをさらに深化させるため、DMOとの連携による広域周遊の拠点整備や、それらを活用した住民主導による広域交流促進等の取組みに対する助成</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td>対 象</td> <td colspan="4">府内市町村</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td>ハード事業</td> <td colspan="3">ソフト事業</td> </tr> <tr> <td>対象事業</td> <td>これまでに整備された戦略拠点の拡充及びこれに付随する事業並びに新規に着手する戦略拠点の整備</td> <td colspan="3">戦略拠点を活用した地域の活性化事業</td> </tr> <tr> <td>要件等</td> <td colspan="4"> <p>「もうひとつの京都」事業による地域づくりとして、以下の要件を満たすこと</p> <p>①DMOとの連携により広域周遊に資する事業 【ハード】地域構想や市町村をつなぐ広域周遊施策に資する拠点施設の整備 【ソフト】拠点施設を活用したDMOとの連携による広域周遊のための取組み</p> <p>②交流人口の拡大に向け、住民等と協働をより深める事業 【ハード】拠点施設を活用した広域交流促進のために要する施設改修 【ソフト】地域住民による観光客向けの体験メニュー・特産品づくりなどの活動</p> </td> </tr> <tr> <td>採択フロー</td> <td colspan="4"> <p>市町村が事業計画書を提出 ↓ DMOが内容に助言（ブラッシュアップ）→内容を必要に応じて見直し ↓ 事業採択</p> </td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>2分の1以内</td> <td colspan="3">2分の1以内</td> </tr> <tr> <td>補助限度額</td> <td>300万円以下</td> <td colspan="3">100万円以下</td> </tr> </table>					対 象	府内市町村				区 分	ハード事業	ソフト事業			対象事業	これまでに整備された戦略拠点の拡充及びこれに付随する事業並びに新規に着手する戦略拠点の整備	戦略拠点を活用した地域の活性化事業			要件等	<p>「もうひとつの京都」事業による地域づくりとして、以下の要件を満たすこと</p> <p>①DMOとの連携により広域周遊に資する事業 【ハード】地域構想や市町村をつなぐ広域周遊施策に資する拠点施設の整備 【ソフト】拠点施設を活用したDMOとの連携による広域周遊のための取組み</p> <p>②交流人口の拡大に向け、住民等と協働をより深める事業 【ハード】拠点施設を活用した広域交流促進のために要する施設改修 【ソフト】地域住民による観光客向けの体験メニュー・特産品づくりなどの活動</p>				採択フロー	<p>市町村が事業計画書を提出 ↓ DMOが内容に助言（ブラッシュアップ）→内容を必要に応じて見直し ↓ 事業採択</p>				補助率	2分の1以内	2分の1以内			補助限度額	300万円以下	100万円以下		
	対 象	府内市町村																																						
	区 分	ハード事業	ソフト事業																																					
	対象事業	これまでに整備された戦略拠点の拡充及びこれに付随する事業並びに新規に着手する戦略拠点の整備	戦略拠点を活用した地域の活性化事業																																					
	要件等	<p>「もうひとつの京都」事業による地域づくりとして、以下の要件を満たすこと</p> <p>①DMOとの連携により広域周遊に資する事業 【ハード】地域構想や市町村をつなぐ広域周遊施策に資する拠点施設の整備 【ソフト】拠点施設を活用したDMOとの連携による広域周遊のための取組み</p> <p>②交流人口の拡大に向け、住民等と協働をより深める事業 【ハード】拠点施設を活用した広域交流促進のために要する施設改修 【ソフト】地域住民による観光客向けの体験メニュー・特産品づくりなどの活動</p>																																						
	採択フロー	<p>市町村が事業計画書を提出 ↓ DMOが内容に助言（ブラッシュアップ）→内容を必要に応じて見直し ↓ 事業採択</p>																																						
	補助率	2分の1以内	2分の1以内																																					
	補助限度額	300万円以下	100万円以下																																					
	担当課・担当名	企画調整理事付		課・担当電話番号	075-414-4513																																			

平成30年度6月補正予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農と里を支える担い手育成事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	9,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		4,500	—	—	4,500
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>高校生・大学生に対して、農業や農起業の魅力伝え、職業意識を醸成するとともに、地域の担い手となる移住者や若手農林漁業者等の経営多角化を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p><若い農の担い手対策></p> <p>(1) 高校生就農意欲向上対策 2,000千円 農業系高校の学生を対象に府内トップクラスの農業者等の元で、農業体験を実施</p> <p>(2) 大学生農起業者育成対策 1,000千円 大学のゼミ活動と連携し、府内トップクラスの農業者等を講師としたフィールドワークを実施</p> <p><担い手の経営多角化対策></p> <p>(3) 起業・多角化対策 6,000千円 新たな農村移住者や地域の若手農林漁業者等を対象とした起業・多角化に向けた研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村起業化研修（移住者等の農家レストラン開業支援等） ・経営企画研修（地域資源を活用した新メニュー開発等） ・経営実践研修（地域資源を活用した販売促進活動等） 等 				
担当課・担当名	経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当		課・担当 電話番号	075-414-4942	

平成30年度6月補正予算案主要事項説明

環境部

事業名	山陰海岸世界ジオパーク誘客促進事業費		新規・継続の別		新規	
予算額	32,400 千円		国庫	起債	その他	一般財源
			14,600	15,000	－	2,800
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 外国人も含めた誘客促進のため、ジオサイトの保全等を行うとともに、案内板の多言語化やトイレの洋式化等を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) ジオサイトの保全・整備 見どころのひとつである大成古墳歩道を整備</p> <p>(2) ジオサイトへの誘導 府内の見どころへ誘客するための道路標識を整備</p> <p>(3) 外国人受入体制の充実 外国人の誘客の促進に向け、英語表記付き案内板等を整備するとともに、トイレの洋式化を実施</p>					
担当課名	自然環境保全課 自然環境担当	課・担当	電話番号	075-414-4378		

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

政策企画部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	京都式ガストロノミーツーリズム推進事業費			新規・ 継続の別	新規		
予算額	23,700千円			国庫	起債	その他	一般財源
				6,350	—	—	17,350
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 平成30年度6月に設置する「観光戦略総合推進本部」のもと、国内外観光客共通の旅行目的であり、府域共通の観光資源でもある「食」を活かし、その土地ならではの食を味わいながら、その背景にある歴史・文化との関係も楽しむ「ガストロノミーツーリズム」を、京料理のプロフェッショナルである「京の料理人」と連携して推進することで、府域への観光誘客を促進する。</p>						
	<p>2 内 容</p> <p>(1) 地域の食のコンテンツづくり ① 6,740千円 ・企業等との連携によるジビエメニューや特産物の開発 ・山城ならではの食の魅力を発掘し、新たに立地する宿泊施設等に向け提案等</p> <p>(2) 食をテーマとした地域への観光誘客 ① 2,600千円 ・新商品の開発を通じて京都丹波の「五色の豆」の新たな魅力を発信 ・高品質な中丹茶を楽しめる「中丹茶カフェ」の認定 等</p> <p>(3) 「食」イベントによる賑わい創出 ① 4,160千円 ・9・10月を「丹後グルメ月間」と位置づけ、「道-1グランプリ」等のグルメイベントを開催 ・宇治茶をはじめとした山城地域の食が一堂に会する「宇治茶・山城ごちそうフェスタ(仮称)」の開催 等</p> <p>(4) 農林水産物の品質向上・生産拡大等 ①③ 2,200千円 ・地域の食の魅力を支える食材のブランド力を強化するための戦略会議の設置やセミナー開催に対する助成 ・農業関係者の技術向上支援に向けた交流会・研修会の開催 等</p> <p>(5) 府域の横断的な「食」情報の発信・周遊促進 ② 8,000千円 ・京の料理人の監修による各地域の食コンテンツのブランド価値向上 ・府域の食情報をターゲットに合わせて発信 ・京都府観光連盟のホームページへの経路検索機能の付与により、府域全体への周遊を促進</p>						
担当課・担当名	①計画推進課 計画・地域担当 ②観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ③流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当			課・担当 電話番号		075-414-4347 075-414-4854 075-414-4941	

京都式ガストロミーツーリズム推進事業費 一覧

(単位:千円)

NO	事業名	概要	予算額	部局名	(問合せ先)
1 地域の食のコンテンツづくり					
1	宇治茶ムリエ講座の開催、新たに立地する宿泊施設等に向けた新たな食材開発	・従来の宇治茶ムリエ講座に加え、季節に応じた水出し緑茶講座等を開催 ・山城ならではの食の魅力を発掘し、新たに立地する宿泊施設等に向け提案	3,440	山城広域振興局	①
2	「京都丹波イチ推しの食」等推進事業	道の駅等やホテルグランヴィアグループと共同開発してきた「京都丹波イチ推しの食」の取組を京都丹波の食のブランドとして年間を通じ発信	2,200	南丹広域振興局	①
3	京都中丹認証ジビエ倍増戦略事業	・企業等と連携したジビエメニューや特産物開発、DMOと連携した森の京都ジビエフェアや、NPO・農家民宿等と連携した食育活動、料理講習会等を実施 ・京都中丹ジビエ認証制度の運用(技術委員会開催)やジビエハンターの養成(講座開催)による安定供給を促進	1,100	中丹広域振興局	①
小計			6,740		
2 食をテーマとした地域への観光誘客					
1	五色の豆プロジェクト	スポーツ・健康など次世代にフィットする「おもたせ」、「スポーツスナック」の商品開発を通じて京都丹波の「五色の豆」の新たな魅力を発信	500	南丹広域振興局	①
2	「農家民宿等」魅力づくり事業	・レベルアップを目指す農家民宿・農家レストランに専門家等を派遣し、質やおもてなしの向上を進め、グレードの高い農家民宿やオーベルジュ等の増加を図る ・農家民宿や教育旅行を受け入れる農家等が連携する一定のエリアで多様な里山体験等が楽しめる「農家民宿村」の形成に、地域ぐるみで取り組む地域を支援	1,000	中丹広域振興局	①
3	未来を拓く茶どころ中丹発展支援事業	・若手生産者の技術力・品質向上に向けた共同茶園のモデル設置。中丹茶サポーターの新規獲得や既存登録サポーターのレベルアップで「中丹茶技能登録者」を認定し、摘み子人材を確保 ・高品質な中丹茶を飲める「中丹茶カフェ」を認定(農家民宿等)。最高品質の一番茶を「いち推し中丹茶」としてPR	1,100	中丹広域振興局	①
小計			2,600		
3 「食」イベントによる賑わい創出					
1	宇治茶・山城ごちそうフェスタ開催事業費	宇治茶をはじめとした山城地域の食が一堂に会する「宇治茶・山城ごちそうフェスタ(仮称)」の開催	2,160	山城広域振興局	①
2	「丹後グルメ月間」推進事業費	9月に開催する「道一グランプリ」や市町等のグルメイベントの連携・集約を図り、9・10月を「丹後グルメ月間」と位置づけ、丹後の食の魅力を発信し、誘客を促進	2,000	丹後広域振興局	①
小計			4,160		
4 農林水産物の品質向上・生産拡大等					
1	京の農林水産物ブランド力強化支援事業費	地域の食の魅力を支える食材のブランド力を強化するための戦略会議の設置やセミナーの開催に対する助成	2,000	農林水産部	③
2	個性を集め、強みに変える事業費	農業関係者の技術向上支援に向けた交流会・研修会の開催等	200	山城広域振興局	①
小計			2,200		
5 府域の横断的な「食」情報の発信・周遊促進					
1	京都式ガストロミーツーリズム推進事業費	・京の料理人の監修によるブランド価値向上 ・ターゲットに応じた情報発信 ・府域全体への周遊促進(観光連盟HPの活用)	8,000	商工労働観光部	②
小計			8,000		
総計			23,700		

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	京都舞鶴港クルーズ誘致強化事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	2,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	2,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>京都舞鶴港からの乗船客を増やすために旅行会社等と共同プロモーションを実施するとともに、海外のクルーズ見本市等に参加しクルーズ船の寄港拡大を図る。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 乗船客確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社等とタイアップした舞鶴乗船共同プロモーションを実施 ・京都舞鶴港発着クルーズ説明会を開催 <p>(2) クルーズ船誘致対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外のクルーズ見本市等に参加しポートセールスを実施 				
担当課・担当名	経済交流課	港湾経済担当	課・担当	電話番号	075-414-4844

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	サイクルツーリズム推進事業費		新規・ 継続の別	新規		
予算額	2,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			1,000	-	-	1,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 平成30年10月に「京都八幡木津自動車道」を活用して府南部エリアで開催される「KYOTOロングライドin South Around」への参加者に対するおもてなし事業を実施し、同地域をはじめとする府域への誘客につなげ、地域の活性化を推進する。</p> <p>2 内 容 ○エイドステーション等でのおもてなし ・エイドステーションにおける地元産品のふるまい ・ゴールでのおもてなし</p> <p>【大会概要】 名 称 KYOTOロングライドin South Around 日 時 平成30年10月7日（日） 8:00～18:00 コース等 Aコース：ロングコース 約133km（約800名） Bコース：ショートコース 約40km（約400名） Cコース：リレーマラソン 約20km（約200チーム・2,000名） Dコース：ファミリーラン 約1km（約150組・300名） 参加者 3,500名程度 主催 株式会社JTB・株式会社豊守</p>					
担当課・担当名	観光政策課 観光誘客推進担当		課・担当 電話番号		075-414-4878	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

企画調整理事
商工労働観光部

事業名	次世代観光ガイドシステム構築事業費		新規・ 継続の別	新規		
予算額	18,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			-	-	-	18,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>「もうひとつの京都」をはじめとする府域の観光情報を発信し、国内外の観光客の利便性向上を図るとともに、京都市に集中する観光客を府域へ誘導する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>観光の玄関口となる交通の結節点等にデジタルサイネージを設置し、それぞれのサイネージの情報を連動させることで、周遊観光を促進</p> <p>(1) デジタルサイネージの設置 鉄道駅や空港など京都エリアへの観光の玄関口や「もうひとつの京都」各エリアの玄関口となる交通の結節点等にデジタルサイネージを設置</p> <p>(2) 観光情報の発信 SNSと連動したリアルタイム情報や定点カメラによるライブ映像、混雑マップ、移動ルートなどの発信</p>					
担当課・担当名	企画調整理事付 文化学術研究都市推進課 計画推進担当 観光政策課 観光振興・基盤整備担当		課・担当 電話番号		075-414-4513 075-414-5194 075-414-4841	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	京の七夕事業費			新規・ 継続の別	継続	
	予算額	35,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
					17,500	—
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>旧暦の七夕にちなみ、平和や環境保全の願いを京都から世界に発信する京都ならではの新しい「七夕」事業をオール京都で実施し、夏の閑散期に多くの観光客を京都に迎え、京都の観光振興を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 開催時期 平成30年8月4日（土）～8月10日（金）</p> <p>(2) 会 場</p> <ul style="list-style-type: none"> ○堀川会場 竹と灯りを活用した催し等を実施 ○鴨川会場 ○その他 民間事業者・団体が実施する七夕関連イベントと連携 また、寺院・神社による夜間拝観等のほか京都駅、各商店街、 京都府域における協賛事業など京都全域で事業を展開 <p>3 事業主体 京の七夕実行委員会</p> <p>（京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、京都府神社庁、京都市観光協会、京都府観光連盟、京都文化交流コンベンションビューロー、冷泉家時雨亭文庫、京都モデルフォレスト協会、京都府中小企業団体中央会、京都伝統工芸産地協会、京都商店連盟、京都青年会議所、大学コンソーシアム京都、堀川と堀川通を美しくする会、鴨川を美しくする会）</p>					
担当課・担当名	観光政策課 観光振興・基盤整備担当	課・担当 電話番号	075-414-4841			

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

商工労働観光部

事業名	京都・花灯路推進事業費			新規・ 継続の別	継続	
予算額	16,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
	-		-	-	-	16,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>閑散期における京都への観光誘客を図るため、京都の歴史的文化遺産をつなぐルートに風情のある灯りで演出し、寺院・神社における夜間拝観等とタイアップしたスケールの大きな夜の観光イベントを、地元や府市民、企業等の参加のもと実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 開催地域・時期 嵯峨・嵐山地域 : 平成30年12月 10日間程度(予定) 東山地域 : 平成31年 3月 10日間程度(予定)</p> <p>(2) 灯りの催事奨励事業 花灯路用に整備した照明設備を、府内の観光や地域の振興のための様々な催しに貸し出し、灯りの催事を支援</p> <p>3 事業主体</p> <p>京都・花灯路推進協議会</p> <p>(京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、 (公財)京都文化交流コンベンションビューロー、 (公社)京都市観光協会)</p>					
担当課・担当名	観光政策課 観光振興・基盤整備担当		課・担当 電話番号		075-414-4841	